

各分野における子育て応援の取組

JR東日本の子育て応援の取り組みについて

2019年6月26日
東日本旅客鉄道株式会社

JR東日本の子育て支援事業 ～HAPPY CHILD PROJECT～①

- ・ 仕事と家庭の両立をサポートし地域に貢献したい。そんな思いのもと、「HAPPY CHILD PROJECT」と総称し、JR東日本グループでは駅型保育園、駅型学童等の施設開設だけでなく、親子で参加できるイベント開催など、子育て中の家族を応援する幅広い取り組みを進めている
- ・ 現在、子育て支援施設は138箇所となり、年間約7,500人のお子さまにご利用いただいている
- ・ 今後も子育てに関する様々なニーズにお応えしながら、子育て支援から暮らしやすい沿線づくりへと歩みをすすめ、安心して快適な子育て環境の未来へ挑む

■ 保育園開設の基本的な考え方

安心

- ・ 認可・準認可保育園の開設を基本としています。
- ・ お子さまが長時間過ごすに相応しい空間づくりに努めています。

便利

- ・ 駅へのアクセスがよい場所で展開しています。
- ・ 勤務時間と通勤時間に配慮した保育時間を提供しています。
- ・ 一時保育の実施等、駅に近い立地にあった保育サービスを提供しています。

信頼

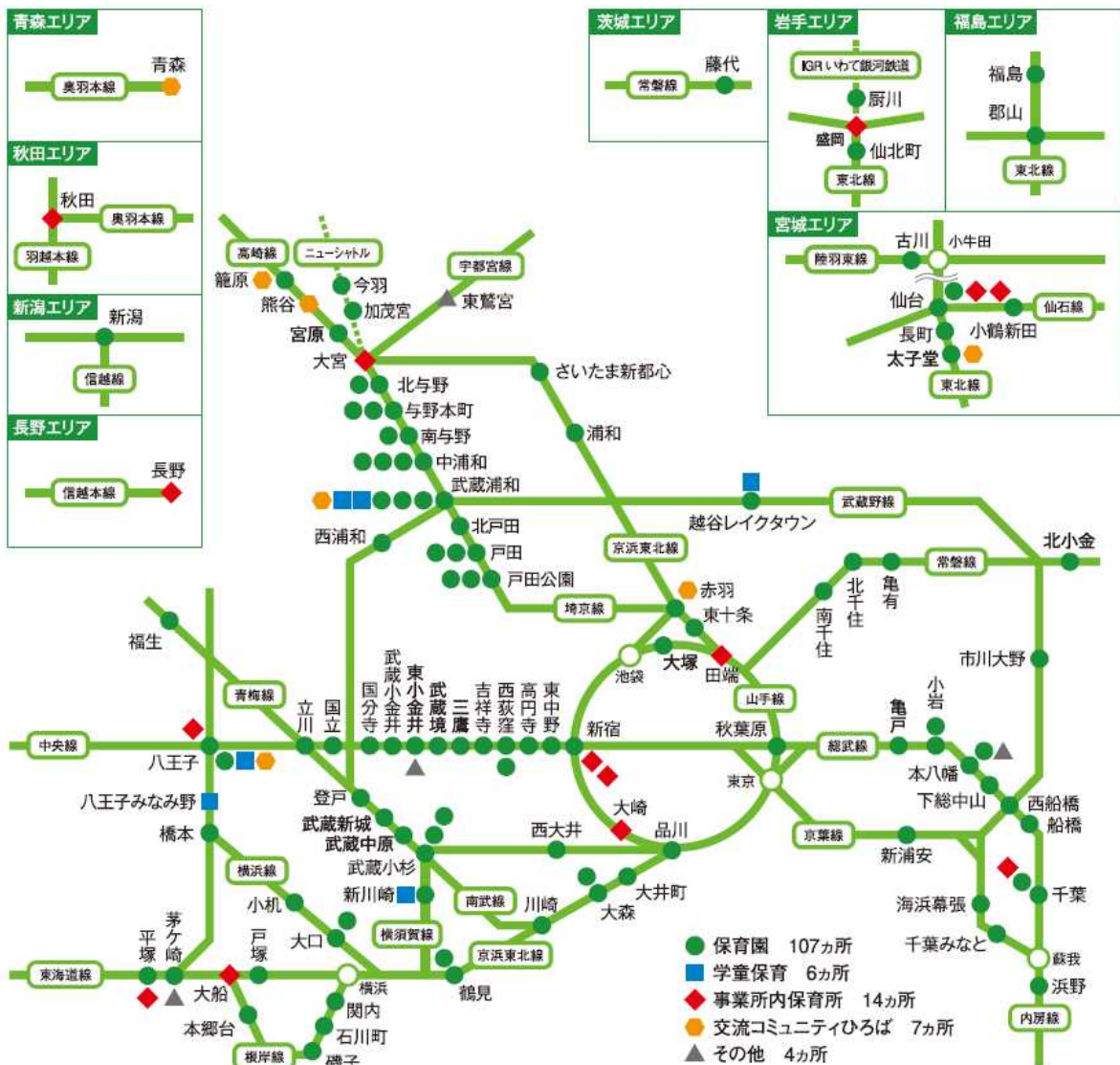
- ・ 事業主・行政・JRが一体となった三者連携による安全・安心の取り組みです。



J R 東日本の子育て支援事業 ～HAPPY CHILD PROJECT～②

■ 子育て支援施設開設状況 2019年4月現在

■ 子育て支援施設 開設状況 2019年4月時点



■ 子育て支援イベント



写真：保育園での乗車マナー教室の様子



写真：子ども鉄道作品展の様子

JR東日本子ども見守りサービス「まもレール」の展開



- お子さまの改札通過情報（駅名、時刻、チャージ残額）を保護者に通知するサービス
- 対象者は小学生、中学生、高校生
- 利用料は月額500円（税抜）
- サービス対象駅は、首都圏244駅（2019年4月1日現在）
- 都営交通と東京メトロが参画し、2020年春にサービス対象駅を拡大予定



メールイメージ

ゆったりグリーン車で新幹線デビュー

2018年度年末年始、2019年度GWと繁忙期の東北新幹線「やまびこ」・「はやて」のグリーン車1両を貸切りで乳幼児のお子様連れのお客さま限定に特別価格で提供

- ・ 有料人員お一人様につき、グリーン車指定席を2席利用可能
- ・ お子様連れのお客さまのみで、他のお客さまを気にせず安心
- ・ おむつ交換台のあるトイレや多目的室が最寄りにあり安心

夏休みも設定予定



お客さまご利用の様子



商品パンフレット（GW）

JR東海 会社概要

当社は、東京、名古屋、大阪間を結ぶ日本の交通の大動脈である東海道新幹線、及び名古屋・静岡地区の都市圏輸送を中心とした12線区の在来線を運営しています。

▶ JR東海路線図



営業キロ： 1,970.8km 内訳：新幹線 / 552.6km 在来線 / 1,418.2km
駅数： 405駅

ポスターの掲出



掲出例（名古屋駅）

- 「ベビーカーキャンペーン」ポスターを展開。
- 2019年版ポスターとともに鉄道利用者向け「ベビーカーの安全な使用のために」を連貼りにて掲出。

駅トイレの設備改良



- 新幹線駅
改札内の全てのトイレにベビーチェアを整備。
(2020年6月頃までに、各駅で使用開始)
- 在来線駅
東海道新幹線停車駅、お客様のご利用の多い駅、イベント会場の最寄り駅等の
13駅の改札内のトイレを改良。ベビーチェアを設置。
(2020年度末までに、対象の全駅で整備完了予定)

注意喚起ステッカーの掲出



➤ 安全にご利用いただくために注意喚起ステッカーを駅内に掲出。

参 考

➤ 「声かけ・サポート」運動



駅構内ポスターの掲出

➤ 「こども110番の駅」



ステッカーの掲出

➤ 「ファミリー車両」の設定

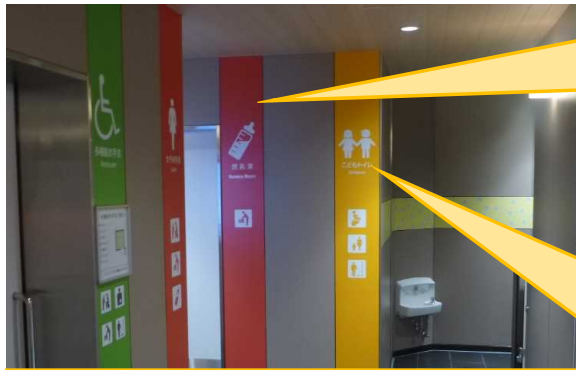


過去のファミリー車両の様子

旅行商品パンフレット

■ JR西日本の子育て応援の取組み

◇こどもトイレの設置



近隣に博物館などの設備がある駅に
こどもトイレなどを設置

◇見守り位置検索サービス「jaico」



移動履歴を把握



よく行く場所の
情報も自動通知



最短1~2分間隔
で現在地を把握

◇声かけサポートの取組み

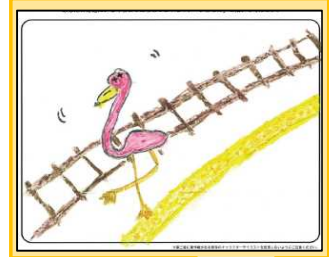


関西の他私
鉄と共同で
実施

◇子育て応援情報誌「とことことん」



◇参加型マナー向上の取組み



マナー啓発イラストを学生を中心に募集、表彰



車両内フリースペース（京成電鉄）

民鉄による 「子育て応援」の取り組み

2019年6月26日（水）
一般社団法人日本民営鉄道協会

Japan Private Railway Association



エレベーター（小田急電鉄）

(一社) 日本民営鉄道協会及び民鉄の取組

1. 協会の子育て応援

妊婦や子どもなどのお客様に鉄道をより安心してご利用いただくため、協会では鉄道事業者と連携して、キャンペーン、イベント開催・ポスター・ステッカーの掲示、チラシの配布等により、啓発活動に取り組んでいます。

○ 主な取組

ベビーカー利用に関するキャンペーン、「マタニティマーク」の普及促進のイベント、ポスター掲出及びマタニティマークの提供、「声かけ・サポート」運動強化キャンペーン、「こども110番の駅」のポスター、ステッカー、レジャーシートの作成掲出、「鉄道における子育て応援の取組」検討会への参加 等

2. 民鉄における取組

民鉄では、誰もが安全で安心・快適な輸送サービスに努めるとともに、妊婦や子ども連れなど子育て世代にやさしく利用しやすい環境、暮らしやすい沿線のまちづくり、働き方改革にも取り組んでいます。

○ 妊婦や子ども連れなど安全で安心して移動できる鉄道

⇒ エスカレーター、エレベーターなど駅施設、車両フリースペース、授乳室、女性専用車両、ベビーカーキャンペーン、こども110番、見守りサービス 等

○ 子育て世代が生活しやすい沿線まちづくり

⇒ 保育施設、宅配ボックス、ドラッグストア、キッズパーク、住み替え支援 等

○ 子育てしやすい職場の環境づくり

⇒ 出産・育児休暇、時差通勤、テレワーク、人材相互受入スキームの導入 等



ベビーカー
キャンペーン

妊産婦さんへの思いやり



マタニティマークを見かけたら、
やさしい心がけをお願いします。

マタニティマークとは、妊婦や産後1年以内の女性に配慮する人々のために設置されるマークです。マタニティマークは、妊婦や産後1年以内の女性に配慮する人々のために設置されるマークです。マタニティマークは、妊婦や産後1年以内の女性に配慮する人々のために設置されるマークです。

ご協力をお願いします。



子育て世帯に対する住
み替え支援「もっと
ずっとプロジェクト」
(東武鉄道)

3. 大手民鉄による最近の取組事例 ①

NEWS RELEASE

2018年12月21日
西武鉄道株式会社
株式会社西武プロパティーズ

西武鉄道の子育て応援プロジェクト 駅チカ保育所「Nicot」 練馬駅に「Nicot 練馬」、東長崎駅に「Nicot 東長崎」を開設 西武線沿線全10カ所で展開

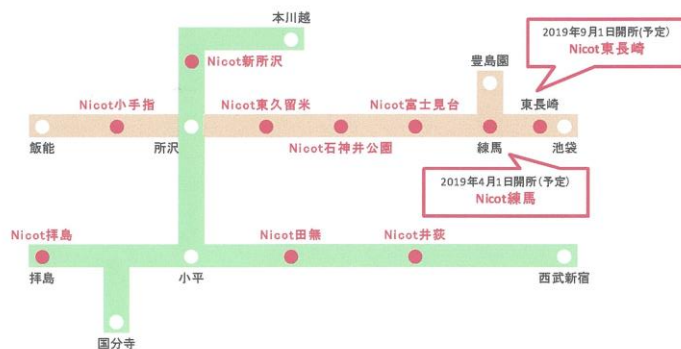
西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）と株式会社西武プロパティーズ（本社：埼玉県所沢市、社長：上野 彰久）は、2019年4月1日（月）に西武線沿線で9カ所目となる駅チカ保育所「Nicot 練馬」を、2019年9月1日（日）に10カ所目となる「Nicot 東長崎」を新たに開設します。
※各施設の詳細は次頁に記載しております。

「Nicot」では、西武鉄道や埼玉西武ライオンズをはじめとした西武グループ各社と連携した体験型のカリキュラムを取り入れております。電車マナー教室や埼玉西武ライオンズの公式マスコット「レオ・ライナ」との野球体験、園外活動として車両基地の見学などを実施し、安心できる保育環境を整えるだけでなく、子どもたちにとってもより楽しく、充実した保育生活を保育所運営事業者と協力し提供しております。



「Nicot 練馬」の園庭にて

今後も、西武線沿線の各自治体と協議を行いながら、子育て支援となる保育施設の開設を進めてまいります。西武グループはこれからも、皆さまに満足していただけるようサービスの向上や住みやすいまちづくりを進め、「ほほえみあふれる沿線」を目指してまいります。



Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

NEWS RELEASE



東京を走らせる力

19-08

2019年1月22日

キッズスペース併設ワークスペース「room EXPLACE」を開設します！

2019年3月に東西線東陽町駅、門前仲町駅の近傍に開設予定

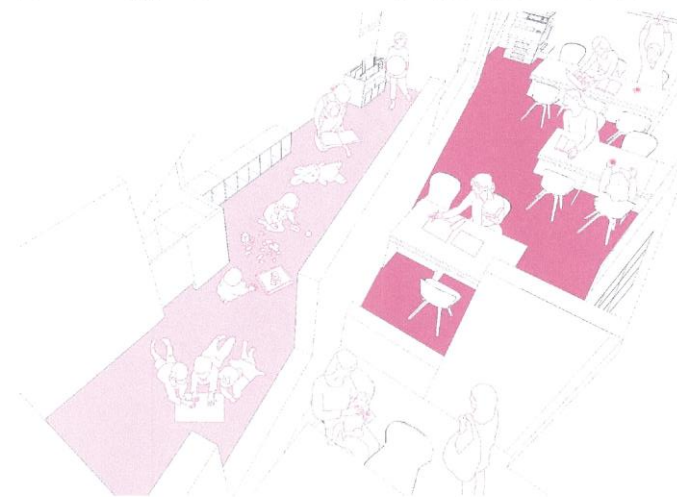
東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、仕事と育児の両立を応援するためのワークスペース事業（サービスブランド名：「room EXPLACE（ルームエクスプレイス）」）を立ち上げ、2019年3月東西線東陽町駅及び門前仲町駅の近傍に、それぞれ「room EXPLACE 東陽町」、「room EXPLACE 門前仲町」を開設します。

近年、働き方が多様化する中、東京メトロでは「これからの働き方」に寄り添った場所づくりを通して、沿線にお住いの子育て世代の方々が自分らしく暮らせる環境づくりを進めていきたいと考え、本事業を開始することといたしました。

本施設では、集中して仕事や打合せを行うための「ワークスペース」に、専門スタッフを配置した「キッズスペース」を併設することで、子育てをしながらお仕事をされている方が、お子様を近くに感じながら、落ち着いて仕事ができる環境をご提供します。キッズスペースを利用せず、ワークスペースのみご利用頂くことも可能です。

東京メトロでは、今後も沿線の子育て世帯の方々が、仕事と育児を両立しながら自分らしいワークスタイル、ライフスタイルを築いていくことを応援してまいります。

キッズスペース併設ワークスペース「room EXPLACE」の詳細は、別紙のとおりです。



施設イメージ

3. 大手民鉄による最近の取組事例 ②

NEWS RELEASE

東京を走らせる力



19-45

2019年5月27日

車両基地イベント「Family Train Festival! in 新木場」を開催します！

2019年7月7日（日）新木場車両基地において限定3,000名様をご招待します

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）では、**2019年7月7日（日）に、新木場車両基地において、ファミリー向けの車両基地イベント「Family Train Festival! in 新木場」を開催いたします。**

このイベントは、普段入ることのできない東京メトロの車両基地を、小学生以下のお子様とその保護者の方を対象に一般公開し、さまざまな体験や見学等を親子でお楽しみいただくものです。なお、イベントをゆっくりとお楽しみいただくため、**事前応募制とし限定3,000名様をご招待いたします。**

今回は、保守用車乗車体験や車両洗浄乗車体験など、親子で乗って楽しむイベントをはじめ、東京メトロの駅で線路内の落とし物を拾う時に使用する秘密兵器を使ったゲームや、「ボッチャ」体験など、様々なコンテンツをご用意しております。皆さまのご来場をお待ちしております。

イベントの詳細は別紙のとおりです。



第18-127号

2019年3月11日

3月11日（月）、子育てを頑張る皆さまを応援するコンテンツを拡充 小田急の子育て応援ブック「こどもとみらい」を発行します ～「おだきゅうキッズ」サイトリニューアルをあわせて実施します～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2019年3月11日（月）、新たに小田急の子育て応援ブック「こどもとみらい」を発行します。

小田急の子育て応援ブック「こどもとみらい」は、小田急沿線で自分らしい子育てを頑張る皆さまを応援する情報誌として、株式会社ベネッセコーポレーション「たまひよ」が編集・制作しました。

特集では、「新しい時代の子育てを考える」をテーマに、小田急沿線在住のつるの剛士さんの子育てへの想いやエピソード、教育評論家・尾木直樹先生の子育てインタビューと不安や心配事Q&Aを掲載します。また、小田急沿線在住のお子さまの成長に最適なさまざまな施設やサービスのご紹介、子どもの健康・発育に関する専門医のお話、人気ブロガー・あね子さんによる子育てエッセイなど、充実した内容となっています。本誌は、小田急線各駅で無料配布するほか、同日に名称変更する当社子育て情報サイト「小田急の子育て応援ナビ」からもご覧いただけます。

また、同日から、お子さま向けサイト「おだきゅうキッズ」をリニューアルし、コンテンツがさらに充実します。オリジナルのロマンスカーのデザインが楽しめる「電車のデザイン」や、遊んで楽しみながら数字や英語が学べる「てんむすび」など、新たなコンテンツを加え、ますます魅力的に生まれ変わります。

当社では、今後も子育て層向けコンテンツの拡充を通じて、皆さまの子育てを応援し、子どもたちの未来に、共に寄り添い続けてまいります。



「こどもとみらい」表紙



「おだきゅうキッズ」HP

3. 大手民鉄による最近の取組事例 ③



第19-06号

2019年4月22日

**新元号「令和」を記念して、6月1日、2日限定企画
「小田急 こども100円乗り放題デー」を実施！
「期間限定 1日全線フリー乗車券」を100円で発売
小田急は、次代を担うお子さまの成長を応援します**

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2019年6月1日（土）、2日（日）の2日間「小田急 こども100円乗り放題デー」を開催します。

この企画は、新元号「令和」を記念し、当社の創立記念日にあわせて、新時代を担うお子さまたちへの希望や健やかな成長を願って実施するものです。

小児向けの1日全線フリー乗車券を「期間限定 1日全線フリー乗車券」として、通常1,000円のところ100円で発売します。あわせて、大人向けについても通常の2,000円で発売します。

この機会に、ご家族やお子さま同士で、お得に小田急線を楽しみながら、鉄道の旅やお出かけを満喫いただき、沿線の新たな発見や気付きなどをお楽しみください。

「小田急 こども100円乗り放題デー」の詳細は以下のとおりです。

記

- 1 実施日 2019年6月1日（土）、2日（日）
※6月1日は小田急電鉄株式会社の創立記念日です
- 2 概要 小田急線全線が1日乗り放題となる1日全線フリー乗車券を「期間限定 1日全線フリー乗車券」として、小児向け通常1,000円のところ100円で発売します。
URL: https://www.odakyu.jp/ticket/couponpass/1day_event_01.pdf
- 3 発売日 2019年5月1日（水）から
※ 利用日の1ヶ月前から発売します
- 4 発売箇所
 - ・小田急線各駅窓口および自動券売機
（自動券売機は当日分のみの発売です）
 - ・小田急トラベル各店舗（一部取り扱いのない店舗があります）
- 5 その他 「期間限定 1日全線フリー乗車券」をお買い求めのお客さまのうち、6月1日、2日の当日、駅で配布しているQRコードによるアンケートにご協力をいただいた方の中から抽選で30名さまに小田急グッズをプレゼントします。
- 6 注意点
 - ・自動券売機で購入する際は、「期間限定 1日全線フリー乗車券」を選択して購入ください

1日全線フリー乗車券

小田急 こども100円 乗り放題デー

2019年6月1日(土)・2日(日)

日頃の感謝をこめて、小学生を応援します!

小田急線 乗り放題 1日全線フリー乗車券
Odakyu Line 1day Ticket

利用期間 2019年6月1日(土)・2日(日)の2日間

発売金額 大人... 2,000円 こども... 1,000円 ▶ 100円

こども用乗車券だけでも発売いたします。

小田急線各駅窓口または自動券売機、小田急トラベル各店舗（一部取り扱いのない店舗があります）にてお買い求めください。詳しくは、小田急電鉄

4. 結び

今後とも、子育てにやさしい輸送サービスの提供に向けて、業界内で広く情報交換・共有、横展開しながら取り組んでまいります。

（一社）日本民営鉄道協会は、安全安心な輸送の確保と快適な輸送サービスの提供に取り組むことにより、鉄道事業及び軌道事業の健全な発展を図り、国民経済の発展に寄与することを目的とする団体です。【加盟社数】73社（大手16社、地方57社）



©YASUO



©YASUO



©YASUO

地下鉄事業者による「子育て支援」について

一般社団法人 日本地下鉄協会

東京メトロ、大阪メトロ及び公営地下鉄の合わせて10社局における、お子様連れのお客様に対する配慮・支援等についてまとめた。

1. 子育て支援に関するプラン等について

子育て支援に特化したプラン・計画等を作っている事業者はないものの、多くの事業者が「経営計画」等の中で、お子様連れのお客様への対応に関連する事項について取り上げている。

- ・「子育て支援に資する対策」に触れているもの・・・7社局
- ・記述がないか、「経営計画」を作っていない・・・3社局

2. 車両施設について

① ベビーカースペース

ベビーカースペース（車いすスペースとの共用を含む）については、何らかの形ですべての列車編成に設置されているが、車両の導入時期等により設置数に差がある。

新しい車両では、すべての車両に設置されるのが基本となってきたが、古い車両については、1編成のうちの2両にのみ設置というパターンが多い。

現時点では、営業運転の全車両に設置しているという事業者は、1社局にとどまっているが、すべての事業者において「全車両にベビーカースペースが設置されている」編成の列車を投入している路線を持っている。

② その他

- ・全車両に車いすスペースを設置しているが、それとは別に、ドア脇に「ゆとりスペース」という多目的スペースを設置し、ベビーカーのイラストをつけて利便性を図っている（Osaka Metro）。

3. 駅施設について

① 授乳室

駅施設の中に授乳室・スペースを設置する事業者が増えてきており、7事業者が、改札内外のいずれかに、授乳スペースを設置している。

- ・複数設置している・・・・・・・・4社局
- ・1カ所・・・・・・・・3社局
- ・設置していない・・・・・・・・3社局

② おむつ替え施設・ベビーシート

すべての事業者が、授乳スペースや多目的トイレの付随施設として、おむつ替え施設やベビーシートを設置している。設置個所数は、すべての事業者で駅数と同じか駅数より多く、ほぼ全ての駅に普及しているものと思われる。

③ その他

多くの事業者が、トイレにベビーチェアの設置を進めており、ピクトグラムで表示している事業者もある。

4. 保育施設について

鉄道事業者が沿線施設を保育施設として利用したり、施設を貸与する動きがありますが、地下鉄においても、3事業者が高架下等を保育施設に活用している。

5. 子育て支援に資する割引切符等

① 幼児運賃について

子育て支援対策として「同伴幼児の無料人数の拡大」を行うという社局があったことから、大人または運賃を払った子供が同伴する幼児（1歳以上6歳未満）を無賃扱いとする人数について調査した。

- ・ 同伴幼児 1 名のみ無料 1 社局
- ・ 同伴幼児 2 名まで無料 7 社局
- ・ 同伴幼児 4 名まで無料 1 社局
- ・ 保護者（父親・母親等）の同伴する幼児は全員無料 1 社局

② 企画切符等

- ・ 夏休み等の長期休暇時に、子供運賃を初乗り運賃に固定
- ・ 「1 DAY お子サマーパス」（夏休み限定の子供向け 1 日乗車券）
- ・ 特定の路線は、中学生以下通年無料で乗車し放題
- ・ 親子連れ用割引「ファミちかきっぷ」「ファミリーペア券」

6. その他の取り組み

その他、子育て支援に資すると考えられる地下鉄事業者の取り組みについて紹介します。

- ・ 「女性と子どもの安心車両」を、平日の始発から 9 時まで、1 編成に 1 両設定している（札幌市交通局）
- ・ 一部の車両に「子育て応援スペース」を試験導入（東京都交通局）
- ・ 子供見守りサービス「まもレール」への参画を企画（東京メトロ、東京都交通局）
- ・ ホームページに、「子育て支援情報」のページ（Osaka Metro）
- ・ 子供向けロボットプログラミング教室開校（東京メトロ）
- ・ トイレ改修時に「子供の利用しやすいトイレ」をめざす（名古屋市交通局）
- ・ エレベーターに「ベビーカー優先」の表示を行っている（福岡市交通局等）

以上

第1回子育てコンソーシアム会合を受け、「鉄道における子育て応援の取り組み」について、各事業者の先行的取り組みを、業界内で広く情報交換するとともに、共有・横展開し、取り組み推進の具体的方策を検討するため、検討会を設置。

■参加メンバー

国土交通省鉄道局、日本民営鉄道協会

JR東日本、東京メトロ、東急電鉄、西武鉄道、東武鉄道

※随時メンバーを拡大し、全国的な展開を目指す。

■主な検討事項

子育て応援に資する車両や駅施設等について広く情報交換、共有、横展開するとともに取り組み推進の具体的方策を検討。

■第1回検討会 平成30年10月24日

■第2回検討会 平成31年 3月20日

※引き続き、定期的開催

子育てにやさしい移動に関する協議会資料

令和元年 6 月 2 6 日



公益社団法人 日本バス協会

1. バス事業の概要

バスはお子様からお年寄りまで地域の方にとって最も身近な公共交通機関
1日当たり輸送人員1,270万人(日本の人口の1/10)

(1) 輸送量

(平成29年度)

乗合	43億4,200万人
貸切	2億9,700万人
計	46億3,900万人

1日当たり1,270万人

(2) 事業者及び車両 (平成29年度)

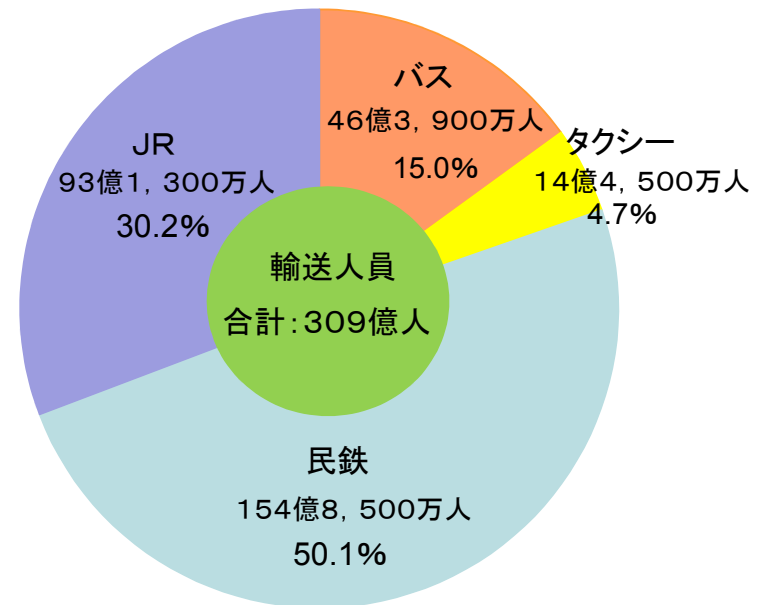
<事業者>

乗合バス	2,266者
貸切バス	4,324者

<車両>

乗合バス	60,522両
貸切バス	51,109両

陸上交通機関別輸送人員



2. 児童・学生輸送

子どもたちの成長に合わせ、安全・安心なバス輸送サービスを提供

(1) 通園・通学

- ・幼稚園バス
- ・スクールバス
- ・路線バス(通学利用)

(2) 学校行事

- ・修学旅行
- ・校外学習
- ・部活動等



平成30年度は川崎市の小学校3・4年生を
対象に約20両のバスを無償提供予定

参 考

【平成30年7月豪雨の復旧・復興支援にバスが活躍】

- ・鉄道不通区間でのバスによる代行輸送(通学・通勤に対応)
- ・被災者・ボランティア輸送

3. 子育て応援（1）

（1）日本バス協会に子育て応援推進本部を設置

平成30年9月10日

（2）運賃

①普通運賃（標準約款）

○幼児：無料

○小学生：大人普通運賃の半額

※夏季休暇等で小学生向けの割引運賃を実施する事業者もある

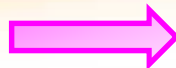
②定期券

○通学定期の割引等

（3）子ども連れの方にも使いやすいバス

ノンステップバスの台数

2007年（H19）
12,216 両



2017年（H29）
26,002 両

10年間で2.1倍に増加



3. 子育て応援（3）

（5）妊産婦のバス利用無料化の事例

関係自治体	対象となるバス路線	運行会社	無料化等の事例
山形市 (山形県)	ベニちゃんバス、 山形市コミュニティバス 高瀬線 (コミュニティバス)	山交バス	妊婦無料、 未就学児の親無料
	山形市地域交流バス 南部線 (コミュニティバス)	山交ハイヤー	
港区 (東京都)	ちいバス (コミュニティバス)	フジエクスプレス	妊産婦無料 (妊娠～産後1年未満) (ちいばす)
葛飾区 (東京都)	路線に制限なし	多数のバス事業者	「マタニティパス」 妊婦に5,500円分チャージした交通系ICカードを交付
長久手市 (愛知県)	Nーバス (コミュニティバス)	名鉄バス	妊婦無料、未就学児の保護者無料、小・中学生無料
大垣市 (岐阜県)	名阪近鉄バス (大垣市内)	名阪近鉄バス	妊婦無料、小学校2年生以下の子を同伴の場合無料
大阪市旭区 (大阪府)	あさひあったかバス (コミュニティバス)	北港観光バス	妊産婦無料、未就学児の保護者無料
加西市 (兵庫県)	ねっぴ～号 (コミュニティバス) 神姫バス(加西市内)	神姫バス	妊婦無料、未就学児の保護者無料、小・中学生無料
	はっぴーバス (コミュニティバス)	加西親栄自動車	妊婦無料、未就学児の保護者無料、小・中学生無料



注：無料化に伴う費用は、原則自治体が負担している

3. 子育て応援（4）

（6）ベビーカーシェアリングの取組への協力

武蔵野市が実施している事例



ベビーカー貸出しサービス事業「ベビ吉」は、吉祥寺駅周辺でどなたでも自由に利用できるサービス。

- ・貸出場所：市内5カ所の商業施設等
- ・利用料：無料

金沢市が実施している事例



ベビーカーのレンタルサービス「ベビのり」は、市民や金沢にお越しの観光客の方が、買い物や観光などで気軽に利用できるサービス。

- ・貸出場所：市内8カ所の観光拠点等
- ・利用料：1日1回200円

武蔵野市近郊のバス会社において
お客様が持ち帰れるように
バス車内へのご案内の掲示を実施

3. 子育て応援（5）

（7）新一年生に対しバスの乗り方教室を実施



運転席からのバス車両
の死角を説明



バス乗車時の車内
マナーをパネルで
説明

バス停での
待ち方



降車時も注意が必要



4. 広報活動

①こども霞が関見学デー

平成30年8月1日(水)・2日(木)開催

爽快！スカイバス～霞ヶ関こども探検隊出発！

屋根なし2階建てのスカイバスによる霞ヶ関周遊を行います！
11時、12時、14時、15時出発！



整理券配布

整理券情報

10時から①ブースにて
先着順に整理券配布

※残数がある場合は、
13時から配布予定

国土交通省の「こども霞が関見学デー」への協力

②バス車内の広告枠を利用した、 公益的な広報への協力

○子育て支援にも、今後協力

例：国土交通省「東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会特別仕様ナンバー
プレート」ポスターを掲出

令和元年度も周遊予定

子育て応援への取組

令和元年6月26日

一般社団法人 日本旅客船協会

船

は、小さなお子さま連れのお客様を
応援します。

（ほかのお客様に気兼ねすることなくご利用いただける環境をつくれます。）

1

広い。
裸足で走り回れる。



2

安心。
ぐずっていても大丈夫。



3

楽しい。
はしゃいでもOK。



乳幼児連れの方・妊婦の方を支援するための取組み

- ① 乳幼児連れの方・妊婦の方などに他のお客様より早く船内に案内
- ② 混雑時に船内放送等で席の譲り合いをお願い
- ③ ベビーカー利用者に対する乗船客の協力をお願いするポスターのターミナルや船内への掲示
- ④ 乳幼児連れの方のバリアフリーエレベーター等の優先利用案内の掲示
- ⑤ 授乳室、女性専用室、キッズルーム、ベビーシート、ベビーチェアなどの設置